

業 種	タクシー
取組分野	高齢化、事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	乗務中の水分摂取による健康増進
取組の狙い	高齢運転者の健康増進のため、トップダウンで取組を実施することにより、運転者本人が自身の健康を気遣うきっかけを作り、健康意識の向上を図る。
具体的内容	<p>すみれタクシー株式会社（名古屋市）では、高齢運転者の健康増進の一環として、健康教育、特に、高血圧の改善に適切な水分補給の重要性を運転者自身が認識することを目的とした以下の取組を行っている。</p> <p>1. 座学による健康教育（インプット） 高血圧を改善するための水分補給の重要性の認識を座学により深める。</p> <p>2. 飲料水の支給・摂取（アウトプット） 座学での認識を実践するため、高齢運転者に対して、始業時に会社から水 1 リットルを支給し、乗務中の積極的な水分補給を促し、終業時に水分摂取量を確認している。</p>  <p>3. 取組の実施時期 運転者に取組の効果を実感してもらうため、実施時期を健康診断の 2 カ月前に設定することで、取組結果が測定値として表れ、運転者自身が前回の検査結果と比較して、どれだけの変化があったかを認識する機会としている。また、健康診断項目の数値が低下（改善）することにより、取組の効果を実感し、取組を継続する「やる気（モチベーション）」に繋げることと併せて、健康増進への「気づき」の機会としている。</p> <p>4. 最終的な目的 最終的な目的は「健康の維持・増進」であり、乗務中の水分摂取は一時的な取組に過ぎず、会社主導のトップダウンでの取組も重要ではあるが、会社が音頭をとることなく、自身の健康増進のために各自が実践し続けることが重要と考えている。</p> <p>5. 取組に苦慮した点・今後の課題 水分補給は健康改善のメリットがある一方で、トイレに行く頻度が高まるデメリットもあり、「実車中、なかなかトイレに行けない」というタクシー運転者の業務の特性上、「トイレが近くなるのが嫌だ」と考える運転者も少なくなく、積極的な水分摂取を妨げている実情もあるため、今後の課</p>

	<p>題であると捉えている。</p>
<p>取組の効果</p>	<p>取組の結果、水分摂取について大半の運転者から理解が得られたこともあり、20人中13人の血圧数値が改善された。</p> <p>その後の「安全衛生委員会」の場で、「水分補給は熱中症になりやすい夏場だけでなく、健康維持のために普段から摂取するべき」と発言する運転者が出てくる等、各自の健康意識の向上につながっている。</p>
<p>事業者名</p>	<p>すみれタクシー株式会社（連絡先：052-301-8131）</p>

健康診断前1ヶ月水分補給結果

	血圧	貧血検査	肝機能	脂質	血糖	尿検査
改善	13	9	12	13	13	5
改善なし	7	11	8	7	7	1
正常値						14